

Telco Systems社がWind River Linuxで製品の強化と新規市場への参入を実現

キャリアグレードイーサネットソリューションのグローバルリーダーが、LinuxベースOSにウインドリバーを選択



Telco Systems社 (BATM Advanced Communications社の子会社) は、顧客の製品の市場化を支援する通信技術やデータ通信技術、高度なネットワークソリューションを専門にしています。

1992年より、光ファイバー ネットワーキング、マルチサービス トランスポート、アクセスソリューション、IP 音声・映像・データ統合サービスといった先端技術を使用して、革新的で高性能な通信機器の設計、製造を行っています。幅広いラインアップのレイヤルータリングIPスイッチやマルチプレクサを開発、製造しており、スイッチの多くに先進の光ソリューションが統合されています。

本社をイスラエルKfar Netterに構え、米国、フランス、ドイツ、アジア太平洋地域に事業所を展開しています。社員数は全世界で400人を超え、傘下の各企業と緊密に一体化した研究開発体制が整備されています。

Telco Systemsの顧客には、ノキア、IBM、AT&T、ベライゾン、タタ・コミュニケーションズ、BT、COLT、SKテレコム、KT、3M、アルカテル・ルーセント、Elbit、IAI、SBCコミュニケーションズをはじめ、フォーチュン100社にランキングされた企業の多くと、主要な通信/データ通信企業のほとんどが含まれています。BATMはこれまでに、全世界で15億ドル以上を製品に投入しています。

Wind River Linuxが独自仕様のOSに基盤を提供

Telco Systemsでは、数年前からWind River Linuxを使用しています。当時、同社はLinux OSやリアルタイムOS (RTOS) への業界のシフトを認識していました。そして、ルータ、スイッチ、デマケーションデバイスといった自社製品用のOSを開発することにしました。

「Wind River Linuxの使用により、必要なほとんどすべてのハードウェア上で、当社独自のBiNOS/BiNOXシステムを稼働できます。使用するハードウェアのタイプにかかわらず、必要なのはLSP (ラベルスイッチパス) またはCPUのボードサポートパッケージとカーネルだけです」

—Telco Systems社R&D担当バイス・プレジデント
David Moses氏

会社概要：Telco Systems社 (BATM傘下)

- キャリアグレードイーサネットアクセスやVoIP向けソリューションの開発
- 本社：イスラエルKfar Netter
- 全世界に社員400人以上

業種

- キャリアイーサネット、伝送ソリューション/ネットワーク

ソリューション

- Wind River Linux 3.0
- Wind River Workbench 3.0

導入効果

- 市場投入までの時間を33%短縮 (3年から2年に短縮)
- ハードウェア製品のラインアップ拡充、ソフトウェアソリューションの付加
- 製品開発ライフサイクルを30%~40%短縮
- セキュリティ機能、安定性、スケーラビリティの向上

自社OSの開発後もまもなく、顧客にもWind River LinuxベースのこのOSを製品に使用したいという強い要望があることが判明しました。これにより、新たな需要が市場に創出され、ソフトウェアベースの新しいソリューションとサービスが誕生しました。

同社が最初に開発したのは、BiNOS (BATM Inter Networking Operating System) という独自仕様のOSです。6年以上の開発期間を費やし、150人以上の技術者が従事して完成したBiNOSは、高い安定性と信頼性を実現し、使い勝手のよいオープンアーキテクチャシステムです。さらに非常にセキュアで、Telco Systemsのすべてのブロードバンド製品に対応した高性能プラットフォームを提供します。BiNOSは、サードパーティOEM向けRTOSソリューションとして販売されています。

BiNOSを強化するために、同社では次のOS、BiNOX (BATM Inter Networking Operating System Linux) の基盤にWind River Linuxを採用することにしました。BiNOXはBiNOSをベースにしたOSで、10年間にわたるネットワーク分野の経験が集約され、BiNOSの成熟が反映されています。

同社のR&D担当バイス・プレジデント、David Moses氏は次のように述べています。「BiNOXはBiNOSをベースにしたOSで、機能とアプリケーションが強化されています。このキャリアグレードの新ソリューションでは、リアルタイムマルチタスクが可能で、保護モードとユーザセキュリティの強化がサポートされています。また、オンラインパッチサポートとコンポーネントベース開発により、お客様の製品の開発サイクルをスピードアップし、市場投入までの時間を短縮することができます」

たとえばBiNOXの特長として、強化されたモジュラー設計、独自の管理フレームワーク、コンポーネントベース開発、XML、NETCONF、YANGのサポート、超高速な起動時間を挙げることができます。

Moses氏は次のように説明します。「Wind River Linuxの使用により、必要なほとんどすべてのハードウェア上で、当社独自のBiNOS/BiNOXシステムを稼働できます。使用するハードウェアのタイプにかかわらず、必要なのはLSP (ラベルスイッチパス) またはCPUのボードサポートパッケージとカーネルだけです。Wind River Linuxプラットフォーム3.0を選んだ理由は、お客様がLinuxベースのOSを要望されたこと、LinuxベースのRTOSに向かう業界動向、お客様の製品の大半がLinuxリアルタイムソリューションに完全対応していたことです」

ウインドリバーは組み込みソフトウェアとモバイルソフトウェアのリーディングカンパニーです。企業がデバイスソフトウェアを、より早く高品質かつ低コスト、かつ高信頼性で開発、運用、管理することを可能にします。

WIND RIVER ウインドリバー株式会社

東京本社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー
TEL.03-5778-6001 (代表)

大阪営業所
〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-5-25 新大阪ドイビル
TEL.06-6100-5760 (代表)

www.windriver.co.jp

© 2012 Wind River Systems, Inc. Wind River、およびVxWorks は、Wind River Systems, Inc. の登録商標です。記載されているその他の商標は、各所有者に帰属します。
詳細： www.windriver.com/company/terms/trademark.html Rev.06/2011

「ウインドリバーは、当社にとって単なるサプライヤーではありません。ウインドリバーはパートナーです。当社のソフトウェアソリューションの大部分が、Wind River Linuxをベースにしているのです」

—Telco Systems社R&D担当バイス・プレジデント
David Moses氏

結論

Telco Systemsのイーサネットアクセスソリューションを活用することで、キャリアイーサネット・ネットワーク全体で複合サービスのサポートが可能となり、顧客は新サービスを導入し、売上を増大できるようになります。

Wind River LinuxベースのBiNOS/BiNOXソリューションにより、Telco Systems製品のスケラビリティは高まり、より簡単に顧客の需要やニーズに応じた展開、管理、制御、強化を行えるようになりました。その証拠に、多くのBATM顧客が堅牢性、安定性、性能を理由に、BiNOXを製品に選択しています。

Moses氏は次のように言っています。「BiNOSとBiNOXのどちらも、当社デバイスの動作速度と信頼性を高めることができます。ウインドリバーのおかげで、ハードウェア製品に加えて、ソフトウェアソリューションの開発、提供が可能になり、アピールできる市場が広がりました。しかも、より品質の高い製品をより短い期間で開発できるようになりました」



詳細について

この採用事例で取り上げられている製品の詳細については、以下のサイトをご覧ください。

www.windriver.co.jp

www.telco.com

<http://www.windriver.com/japan/partners/agency.html>

弊社へのお問合せは下記よりご連絡ください。

<http://www.windriver.com/japan/company/contact/>

■販売代理店